

ヒント数 17 の数独パズルの効率的な生成に関する研究

223426015 長尾 卓
山本研究室

1. 用紙およびページ数

卒業研究発表会アブストラクト（学部 4 年生）は A4 用紙 1 ページ，修士論文公聴会アブストラクト（大学院修士 2 年生）は A4 用紙 2 ページになります。

2. 執筆要領

2.1 マージン

マージンは以下を目安として，設定してください。

- 上マージン：30mm
- 下マージン：27mm
- 左マージン：25mm
- 右マージン：25mm
- カラム間マージン：7mm

2.2 タイトル情報

上部に以下のタイトル情報をページ全体にわたってセンタリングして 1 段組で記述してください。

- タイトル
- 学籍番号と氏名
- 所属研究室

2.3 本文

本文は 2 段組で記述してください。

本文は，必要に応じて節に分けて記述してください。ただし，2 レベルまでとし，1, 1.1, 1.2, … のようにナンバリングしてください。

2.4 図表

図および表には，図 1，表 1 のような通し番号と，名称を記述してください。ただし，図の場合には図の下部に，表の場合は表の上部に記述してください。

2.5 参考文献

参考文献は，本文内で [1][2] のように引用し，本文に続いて，参照した文献のリストを掲載してください。参考文献は原則として以下のように記してください。

- (1) 雑誌の場合
著者： 標題，雑誌名，巻，号，ページ（発行年）。
- (2) 単行本の場合
著者： 書名，ページ数，発行所（発行年）。

3. テンプレートおよびスタイルファイル

Microsoft Word 用のテンプレートと， \LaTeX 用のスタイルファイルを用意してあります。招待を受けた Google Classroom からダウンロードして利用してください。

3.1 Word 用テンプレート

マージンおよび以下のスタイルが登録してありますので，使ってください。

- アブストラクトタイトル
- アブストラクト著者
- アブストラクト所属
- アブストラクト見出し 1 (1, 2, 3, …)
- アブストラクト見出し 2 (1.1, 1.2, …)
- アブストラクト見出し 3 ((1), (2), …)
- アブストラクト本文
- アブストラクト箇条書き（これ）
- アブストラクト文献見出し（「参考文献」）
- アブストラクト文献

3.2 \LaTeX 用のスタイルファイル

以下のように指定してください。

```
\documentclass[a4paper,9pt]{jarticle}
\usepackage{ieabst}
\usepackage{newenum}
\usepackage[dvipdfmx]{graphicx}
```

newenum.sty は，Word テンプレートのスタイル「アブストラクト見出し 3((1), (2), …)」に相当するものです。enumerate 環境と同様に以下のように使用してください。

```
\begin{newenumerate}
\item {\bf アブストラクト見出し}
...
\end{newenumerate}
```

その他は通常のコマンドを使って執筆してください。そのほかの注意事項は，サンプルファイルを参照してください。

また，.latexmk ファイルを同梱したので，latexmk コマンド一発でコンパイルできます。

4. PDF ファイルについて

Word， \LaTeX とも，PDF ファイルを提出してください。Word の場合は docx ファイルを， \LaTeX の場合はコンパイルに必要なソースファイル・図のファイルをまとめて圧縮した ZIP ファイル（特殊なスタイルファイルを用いた場合はそれも含める）を同時に提出してください。Word ファイルと PDF ファイルについては圧縮する必要はありません。PDF ファイルの作成時は，フォントをすべて埋め込んでください。また，アブストラクトを白黒プリンタで印刷する場合があります，その場合にカラー画像が見にくくなることを覚悟してください。

5. \LaTeX 用サンプル

5.1 数式のサンプル

数式のサンプルです。下記の式 (1) のように入力します。

$$\begin{cases} \dot{\vec{x}}(t) &= \vec{A}\vec{x}(t) + \vec{B}\vec{u}(t) \\ \vec{y}(t) &= \vec{C}\vec{x}(t) \end{cases} \quad (1)$$

5.2 図表のサンプル

図および表には、図 1、表 1 のような通し番号と、名称を記述してください。ただし、図の場合には図の下部に、表の場合は表の上部に記述してください。

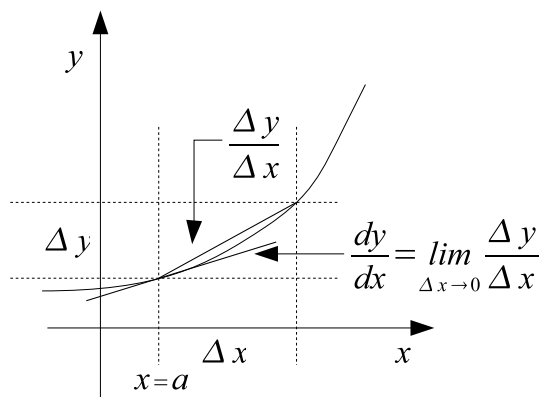


図 1: EPS 図のサンプル

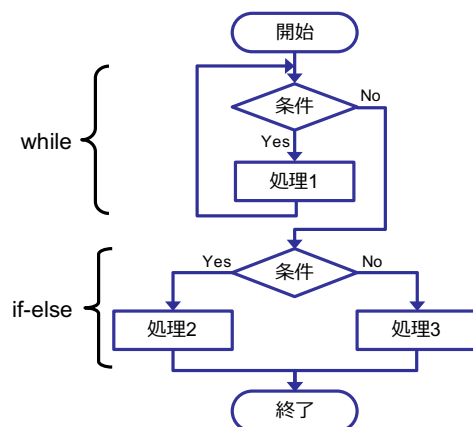


図 2: PDF 図のサンプル

表 1: 表のサンプル

p	q	$p \rightarrow q$	$(p \rightarrow q) \wedge q$
T	T	T	T
T	F	F	F
F	T	T	T
F	F	T	F

5.3 参考文献のサンプル

参考文献引用のサンプルです [1][2].

参考文献

- [1] 名城花子, 山田太郎: 卒業論文の書き方に関する検討, 名城情報論文誌, Vol. 12, No. 1, pp. 21-28 (2015).
- [2] 山本情一, 名城次郎: 卒業研究の進め方の本, p. 301, 名城情報出版 (2009).